

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.389 2011.5.1 <http://www.oakv.co.jp>

再生の息吹き

稲本 正文

僕らの眼を眩ませる光は、
僕らにとつて闇だ。

僕らが目覚めるときにこそ、

夜明けは訪れる。

まだまだたくさんの方が眠ったままで、

夜明けを待っている ——

ヘンリー・D・ソロー『ウォールデン・森の生活』より
(葉月陽子/訳)

近代文明が本格化する頃、ソローが書いた『ウォールデン・森の生活』の最後に書いてあるこの言葉を、私たちはもう一度かみしめ直す必要があると思う。化石資源と原子力でまばゆいばかりのネオンの下、有り余る物資に惑わされた時代があったが、それに眼が眩み、見えなくなったことがあまりにも多かった。まさに私たちは、本当に目覚めて、新たな文明をつくり直す必要がある。

私は38年前、その基本は森にあり、森の緑こそ人類の拠所だと考えオークヴィレッジを出発させた。そして、再生可能な資源である「木」を使ったモノ造りを行ってきた。

そして私たちは今、もつともっと本格的に生活を支える「モノ造り」のあり方を見直し、実現しなければいけない。